

トケンラン ラン科

Cremastra unguiculata (Finet) Finet

鳥取県：絶滅危惧I類 (CR+EN)

環境省：絶滅危惧II類 (VU)



大山 2009.6.7/撮影：矢田貝繁明

■**選定理由**：県内での自生地は数えるほどで、個体数は少ない。鳥取市の自生地では絶滅した可能性がある。採取圧も高い。

■**特徴**：ブナ帯域の林床に生育する多年生ラン科草本。地下茎は細く、卵円形の偽球茎につながる。葉は2枚，長さ10–15 cm。しばしば紫斑点がある。花は5–6月。白色で暗紫色斑点が多数，唇弁は3裂する。大山では2010年には120株程度が確認され，開花は25株ほどであった。個体数には年変動があるが，総じて減少気味である。自生地での草刈りが有効と思われる。鳥取市鹿野町では2009年以降見つからず，絶滅が懸念される。

■**分布** 県内：鳥取市鹿野町，大山町。県外：北海道，本州，四国。

■**保護上の留意点**：自生地の急激な環境変化を避ける。ササ繁茂防止。

■**特記事項**：国立・国定公園採取禁止指定種，鳥取県条例採取禁止指定種

■**文献**：54.

執筆者：永松 大